

評価計画、評価から評定への総括方法

1 学習の記録

各教科の観点ごとに「よくできる」「できる」「もうすこし」の3段階で評定する。

各観点は要録に準じて、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度とする。

各観点と照らし合わせて、

- ・十分満足できると判断できる時…「よくできる」
- ・おおむね満足できると時…「できる」
- ・努力を要すると判断できる時…「もうすこし」

2 行動の記録

各観点について、「できる」「もうすこし」の2段階で評定する。

3 特別の教科 道徳

学期ごとに、学習活動における児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を個人内評価で文章で記入する。

4 外国語活動・総合的な学習の時間・読書科

年間で1回、児童の学習状況の特徴的な事項を記入するなど、児童にどのような力がついたかを文章で記入する。

5 特別活動

特別活動（学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）における事実を記入する。

6 所見

各教科や特別活動、行動に関して、児童の特徴や事実、成長について記述する。

2学期の所見は個人面談に代える。

7 出欠の記録

出席停止、忌引きの日数、欠席及び出席の日数を記入する。